先端の創薬を通じて
人々の健康と明日の医療に貢献する



あすか製薬株式会社

第90期中間報告書

2009年4月1日～2009年9月30日

証券コード 4514

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申しあげます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

ここに第90期の中間期（2009年4月1日から2009年9月30日まで）の事業概況をご報告するにあたり、ご挨拶申しあげます。

国内医薬品市場は、高齢化社会を背景とした医療制度の抜本的見直しのなか、昨年4月の業界平均5.2%の薬価基準引き下げ実施、後発医薬品の普及拡大等による医療費・薬剤費抑制策の基調が継続し、前期に引き続き厳しい状況で推移しています。当社はこのような情勢に対処するため、領域を絞った新製品開発に経営資源を集中し、強い競争力のあるトップクラスの新薬開発型企業を目指しております。「先端の創薬を通じて、人々の健康と明日の医療に貢献する」ことを経営理念とし、法令遵守、倫理的な経営のもと、「社会に貢献し信頼される会社」として発展していきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、宜しくお願い申しあげます。

2009年11月



代表取締役社長

山口　隆

目　次

株主の皆様へ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
営業の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
財務ハイライト（連結）・・・・・・・・・・・・ 3
中間連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・ 4
トピックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
主要製品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
会社概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
株式の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
株主メモ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、世界的な金融不安の影響を受けた景気の後退に一部底入れの兆しはあるものの、企業収益や設備投資の低調、雇用・所得状況の悪化、個人消費の冷え込み等、引き続き厳しい状況で推移しました。

医薬品業界におきましては、診断群別包括支払制（DPC）対象病院のさらなる増加、後発医療用医薬品の普及が進むなど薬剤費削減の基調が継続し、引き続き厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと当社グループは、医薬品事業を中心に売上げの確保に努め、後発医療用医薬品（2品目）の上市およびワイス株式会社からの承継品（5品目）の販売もありましたが、主力製品の競争激化等の影響により、売上高は149億7千8百万円（前年同期比3.7%増）となり、計画に対しては未達となりました。利益面では、計画売上未達および売上構成の変化による原価率の増加ならびに研究開発費等販管費の増加により、営業損失3億5千9百万円（前年同期は3億4千2百万円の営業利益）、経常損失2億3千5百万円（前年同期は5億7百万円の経常利益）、また、特別損失として投資有価証券評価損5千6百万円を計上したことにより、中間純損失2億8千7百万円（前年同期は3億2千8百万円の中間純利益）となりました。

各分野における売上状況は、医薬品分野は140億9千4百万円（前年同期比2.9%増）、動物用医薬品分野は、6億5千2百万円（前年同期比14.8%増）、その他、検査、食品、医療機器、原料薬品等の各分野は、2億3千2百万円（前年同期比23.8%増）となりました。

生産面におきましては、一層の生産の効率化に取り組み、安定供給、高品質の確保を目指すとともに計画に則した生産を順調に達成することができました。また、いわき工場新棟の新生産体制は、来年4月の本稼動を目指し順調に進んでおります。

研究開発面におきましては、本年1月に製造販売承認を取得した後発医療用医薬品ビカルタミド錠「あすか」を5月に上市しました。また後発医療用医薬品レバミピド顆粒20%「あすか」の製造販売承認を7月に取得しました。

当中間連結会計期間における設備投資額は3億5千4百万円で、その主なものは、生産設備および研究設備などであり、全額自己資金で賄っております。

今後の医薬品業界は、引き続き厳しい経営環境が予測されます。

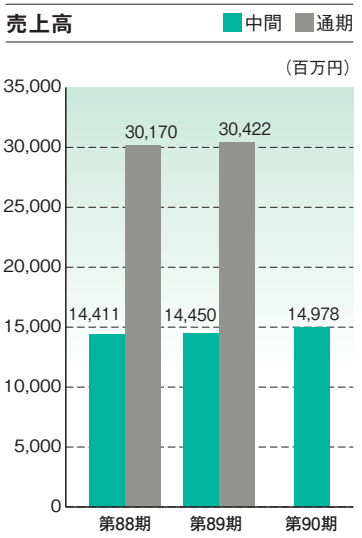
当社は企業価値の最大化を図るため、今後も改革を緩めず効率的経営に努めてまいります。

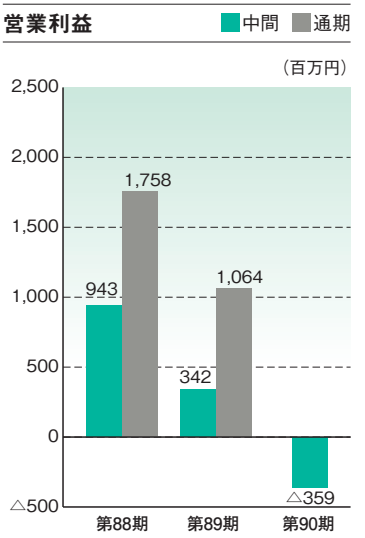
また、株主の皆様はもとより、広くステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図り、企業情報を積極的かつ公正に開示するようIR活動を推進してまいる所存であります。

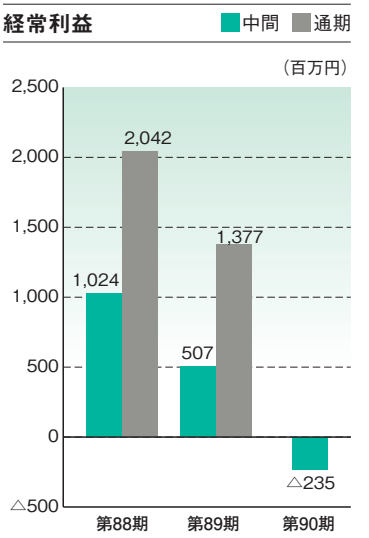
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

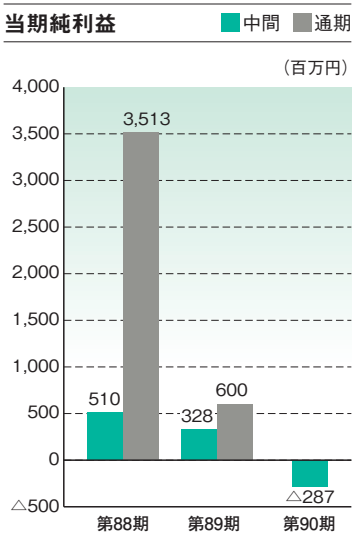


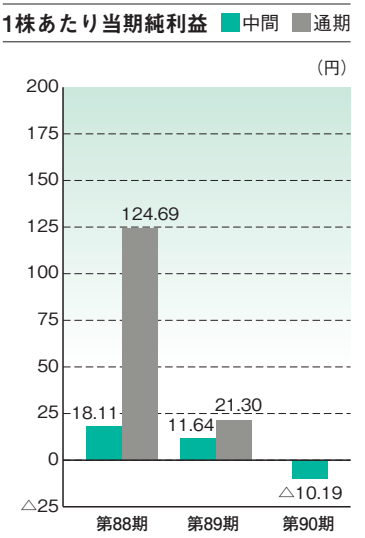
財務ハイライト（連結）

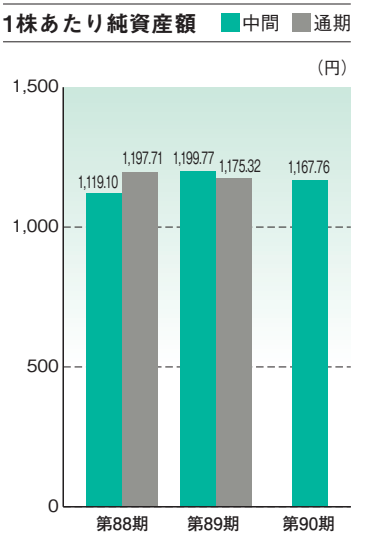












（注）当中間期末の自己資本比率は63.4%です。

中間連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前中間期末 2008年9月30日現在	当中間期末 2009年9月30日現在
（資産の部）	**49,730**	**51,914**
流動資産	**26,021**	**23,666**
現金及び預金	5,501	4,041
受取手形及び売掛金	8,572	8,121
有価証券	5,595	3,340
その他	6,352	8,163
固定資産	**23,709**	**28,247**
有形固定資産	**13,153**	**14,623**
無形固定資産	**261**	**3,617**
投資その他の資産	**10,294**	**10,005**
投資有価証券	5,230	4,580
その他	5,063	5,425
資産合計	**49,730**	**51,914**
（負債の部）	**15,934**	**18,986**
流動負債	**6,908**	**7,159**
固定負債	**9,026**	**11,827**
（純資産の部）	**33,796**	**32,927**
株主資本	**33,807**	**33,399**
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	846	845
利益剰余金	34,070	33,661
自己株式	△ 2,306	△ 2,305
評価・換算差額等	**△ 11**	**△ 503**
その他有価証券評価差額金	△ 11	△ 503
少数株主持分	**–**	**32**
負債純資産合計	**49,730**	**51,914**

中間連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前中間期 2008年4月 1日から 2008年9月30日まで	当中間期 2009年4月 1日から 2009年9月30日まで
売上高	**14,450**	**14,978**
売上原価	5,229	5,843
売上総利益	**9,220**	**9,135**
返品調整引当金繰入額	1	△ 1
差引売上総利益	**9,219**	**9,136**
販売費及び一般管理費	8,876	9,495
営業利益	**342**	**△ 359**
営業外収益	216	161
営業外費用	50	37
経常利益	**507**	**△ 235**
特別利益	141	–
特別損失	55	56
税金等調整前中間純利益	**594**	**△ 292**
法人税等	266	53
少数株主利益	–	△ 57
中間純利益	**328**	**△ 287**

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前中間期 2008年4月 1日から 2008年9月30日まで	当中間期 2009年4月 1日から 2009年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	**△ 760**	**△ 186**
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△ 1,771**	**△ 4,356**
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△ 242**	**2,050**
現金及び現金同等物に係る換算差額	**△ 0**	**△ 0**
現金及び現金同等物の増減額	**△ 2,774**	**△ 2,492**
現金及び現金同等物の期首残高	**12,765**	**9,774**
現金及び現金同等物の中間期末残高	**9,991**	**7,281**

◆ ワイス株式会社からの製品承継



2009年6月18日、当社は、ワイス株式会社（以下「ワイス」）が製造販売、武田薬品工業株式会社（以下「武田薬品」）が販売していた5製品（「トライディオール」、「プラノバール」、「オステラック」、「ロラメット」、「ノバントロン」）の譲渡を受け、2009年7月1日から当社が製品供給と医薬情報活動を開始しました。

今後も、自社研究開発および他社との提携を推進し、売上伸張を目指します。

- **経口避妊剤**
  「トライディオール21錠、トライディオール28錠」
  女性の月経周期のホルモン分泌パターンに合わせてデザインされた三相性経口避妊薬（低用量ピル）です。
- **黄体・卵胞ホルモン配合剤「プラノバール配合錠」**
  機能性子宮出血、月経困難症、月経周期異常などを効能効果とした女性ホルモンの配合剤です。
- **非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤**
  「オステラック錠100、オステラック錠200」
  非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤です。
- **睡眠導入剤「ロラメット錠1.0」**
  ベンゾジアゼピン系睡眠薬です。1990年から山之内製薬株式会社（現アステラス製薬株式会社）が販売し、2002年からワイスが販売していました。
- **アントラキノン系抗悪性腫瘍剤**
  「ノバントロン注10mg、ノバントロン注20mg」
  アントラキノン誘導体系の抗腫瘍剤です。1987年から急性白血病、悪性リンパ腫、乳癌の効能で販売し、1989年に肝細胞癌が効能追加されています。医薬情報活動については、日本製薬株式会社に委託しました。

◆「セルタッチ」販売権許諾契約および委託契約締結



2009年7月27日、当社とワイスは、ワイスの経皮吸収型鎮痛消炎剤「セルタッチ」に関する販売権許諾契約を締結しました。また、同日、当社と武田薬品は、「セルタッチ」の販売およびプロモーションに関する委託契約を締結しました。これらの契約により、当社は「セルタッチ」については武田薬品への物流業務に特化し、本年10月から武田薬品がプロモーションを開始しました。なお、特約店への販売はこれまでどおり武田薬品が継続して行います。

- **経皮吸収型鎮痛消炎剤「セルタッチ®パップ70、140」**
  ワイスと帝国製薬株式会社が共同で開発し、1993年に発売を開始したパップ剤で、経皮吸収型の鎮痛消炎剤です。貼付皮膚部位より有効成分が炎症部位に浸透し、速やかに鎮痛・消炎効果を発揮します。香料を含まない無臭性の製剤であることが特長です。

◆「環境・社会報告書2009」発行



この度、当社で第1号となる「環境・社会報告書2009」を発行しました。本報告書は、当社の事業活動に伴う環境負荷の状況や環境配慮への取り組み状況をはじめ、社会的分野での地域および社会に対する貢献や企業統治・企業倫理・コンプライアンス、経済的分野における売上高、利益、資産等の状況を総合的・体系的に取りまとめて掲載したものです。本報告書は、今後毎年発行する予定です。また、当社ホームページ（http://www.aska-pharma.co.jp/corporate/environment.html）からご覧いただけます。

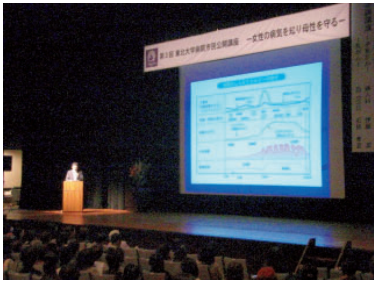
◆ 港区健康づくりサポーター事業「女性のための健康講座」開催



2009年7月25日、女性と仕事の未来館（東京都港区）において、第1回あすか製薬市民公開講座として、「女性のための健康講座」を開催しました。港区に本社がある当社は、社会貢献活動（CSR）にも取り組んでおり、その活動の一つとして同じ区民として「港区健康づくりサポーター事業」に参加いたしました。

第1部では、ウィメンズウェルネス銀座クリニック院長の対馬ルリ子先生から「更年期以降もキラめくために　女性ホルモンとの上手な付き合い方」と題し、クリニックにおける主な症例を織り交ぜながら、「女性のライフサイクル」、「更年期にみられる症状や女性の悩み」、「更年期の女性ホルモンの変化」、「求められている女性医療」、「ホルモン補充療法」などについて、女性の視点に立った講演をしていただきました。第2部では、タレントの松本明子さんから、長年の芸能活動の中での経験や、芸能界での女性特有の悩みなどを大変分かりやすく講演していただきました。当日は176名の参加があり、大盛況でした。

◆ 東北大学病院 市民公開講座「女性の病気を知り母性を守る」開催





2009年10月17日、電力ホール（宮城県仙台市）において、東北大学病院との共催で「女性の病気を知り母性を守る―東北大学病院の取り組み―」をテーマに、市民公開講座を開催しました。

第1部では、「基調講演 ―女性のがん―」として、乳がんについて乳腺・内分泌外科 副科長の石田孝宣先生、子宮がんについて、産科 副科長の伊藤潔先生に最新情報をお話しいただきました。第2部では、更年期障害に関する基調講演として漢方内科／婦人科 外来医長の武田卓先生から、更年期に起こる様々な症状やその対処と治療についてお話がありました。治療法の一つとしてホルモン補充療法の貼付剤の利点などについてお話があった後、武田先生と女優のかとうかず子さんが「女性がいつまでも綺麗でいるために」と題し、楽しく分かりやすい対談が行われました。第3部では、産科・婦人科・漢方内科 科長の八重樫伸生先生をコーディネーターとしたパネルディスカッションが行われました。当日は300名以上の参加があり、分かりやすい講演内容に熱心に耳を傾けられ、みなさん楽しく学んでいらっしゃいました。

主要製品

●医療用医薬品

内科（消化器・循環器・甲状腺）、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科領域に品揃えを展開しています。



消化性潰瘍･胃炎治療剤
アルタットカプセル37.5・75



高脂血症治療剤
リピディルカプセル67・100



甲状腺ホルモン剤
チラーヂンS錠25・50・100



前立腺肥大症・癌治療剤
プロスタール錠25
徐放性前立腺肥大症治療剤
プロスタールL錠50mg



更年期障害治療剤
メノエイドコンビパッチ



定量噴霧式鼻過敏症治療剤
ミリカレット点鼻液50μg
28噴霧用・56噴霧用

●一般用医薬品



解熱鎮痛剤
グレラン・ビット



筋緊張改善剤
ドキシン錠

●動物用医薬品

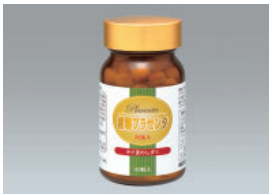


注射用血清性性腺刺激ホルモン
動物用セロトロピン



犬前立腺肥大症治療剤
ウロエース錠

●健康食品



美容健康食品
植物プラセンタASKA



健康補助食品
グルコサミンASKA

会社概要（2009年9月30日 現在）

会社の概要

社名	あすか製薬株式会社
設立	1929年6月28日 （創立1920年6月16日）
資本金	11億9,790万円
主な事業内容	医薬品、動物用医薬品、医薬部外品、食品および医療機器等の製造・販売ならびに輸出入
主な事業所	
本社	東京都港区芝浦二丁目5番1号
事業所	川崎事業所（神奈川県川崎市） 西東京事業所（東京都羽村市）
工場	いわき工場（福島県いわき市） 西東京工場（東京都羽村市）
支店	札幌支店、東北支店、東京支店、千葉・埼玉支店、横浜支店、北関東支店、甲信越支店、名古屋支店、京都支店、大阪支店、中国・四国支店、福岡支店
従業員数	1,030名 （子会社への出向者24名は含めておりません）

子会社

会社名	資本金	議決権の比率	事業内容
	百万円	%	
㈱あすか製薬メディカル	200	100	医薬品原材料等の販売業務 臨床検査業務 健康食品の販売業務 清掃・警備等の受託業務 保険代理店
㈱グレランビジネスクリエイト	231	100	設備・サービスの提供業務
あすかActavis製薬㈱	200	55	医薬品の開発、製造、販売および輸出入

役員

役員	代表取締役社長	山口　隆
	代表取締役専務取締役	山口　雅夫
	専務取締役	金澤　一
	常務取締役	大竹　充
	取締役常務執行役員（生産本部長）	萬矢　裕俊
	取締役常務執行役員（研究開発本部長）	堀内　敏
	取締役常務執行役員（医薬営業本部長）	内藤　朗
	取締役	上田　栄治
	常勤監査役	辻　憲三
	常勤監査役	鈴木　肇
	監査役	武田　裕二
	監査役	増田　由明
執行役員	常務執行役員（特命事項担当）	杉本　隆雄
	常務執行役員（人材開発センター・総務部・人事部・法務広報部担当）	横山　義廣
	執行役員（監査室・信頼性保証本部担当）	才田　修
	執行役員（アニマルヘルス担当）	應矢　誠司
	執行役員（西東京事業所長兼創薬研究センター長）	青塚　知士
	執行役員（特命事項担当）	長谷川　憲一
	執行役員（いわき工場長）	角張　信隆
	執行役員（特命事項担当）	秋山　明

株式の概況（2009年9月30日 現在）

株式の状況

■発行済株式の総数　30,563,199株

■株　　主　　数　3,704名

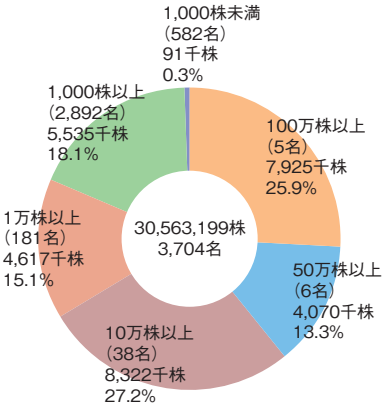
大株主の状況（上位10位）

株主名	所有株数（千株）	持株比率（%）
武田薬品工業株式会社	2,204	7.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,398	4.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,167	3.8
山口　隆	1,060	3.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	973	3.1
長瀬産業株式会社	850	2.7
あすか製薬従業員持株会	667	2.1
日本生命保険相互会社	579	1.8
トーア再保険株式会社	500	1.6
ビービーエイチ ボストン ハートランド バリュー ファンド インク	500	1.6

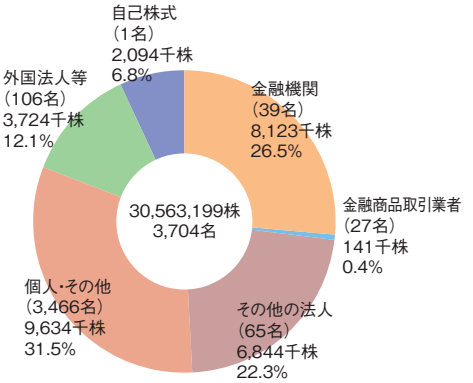
（注）1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は小数第2位を切り捨てて表示しております。
3. 当社は自己株式2,094千株を保有しております。

株式の分布

■所有株数別



■所有者別



株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL. 0120-232-711（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所　市場第一部
公告掲載紙	日本経済新聞

お知らせ

1. 株券電子化によるご注意

（1）株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

（2）特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。

（3）配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。従来同封いたしておりました当社専用の「配当金振込指定書」は本年から同封を取りやめております。振込指定のお手続きにつきましては、詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。

（4）未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

2. 配当金計算書について

本年から、配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

株主様向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記ＵＲＬにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

http：//www.e-kabunushi.com
アクセスコード　4514

いいかぶ　検索

Yahoo!、MSN、excite のサイト内にある検索窓に、いいかぶと４文字入れて検索してください。

空メールにより URL 自動返信

kabu@wjm.jp へ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用の URL が直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます

ＱＲコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のＱＲコードからもアクセスできます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約２ヶ月間です。

e-株主リサーチ

※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。（株式会社エーツーメディアについての詳細 http://www.a2media.co.jp）※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」　TEL：03-5777-3900（平日 10:00～17:30）　MAIL：info@e-kabunushi.com

あすか製薬株式会社

本　社　〒108-8532　東京都港区芝浦二丁目5番1号
TEL.03（5484）8361㈹　FAX.03（5484）8351
http://www.aska-pharma.co.jp/

FSC ミックス品
FSC認証林及び管理された森林からの製品グループです
www.jsc.org Cert no. SGS-COC-2499
© 1996 Forest Stewardship Council

PRINTED WITH SOY INK